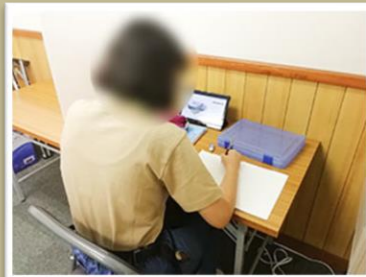


被災した時、あなたはどうしますか？

クロスオーバーnext (就労B)

防災訓練の一環として「被災した時にどのような行動をするのか」や「日頃からはどんな備えが必要なのか」を学ぶ講座を行いました。首都直下型地震が起きた場合を想定し、災害から自分の命を守ることや、一人の力では難しくても他者と力を合わせると救える命があること。災害発生後の不自由な環境の中でみんなが助け合って生活すること等、災害時の自助や共助について学びました。



被災時に取るべき具体的な行動について、初めて知りました。防災に関する知らない事が未だに沢山ある事を自覚する事が出来ました。(Mさん)

「備蓄」をしていなかった人よりもしていた人の方が得をすると思いました。また、少しでも周りの人と協力して助け合えたらいいなと思いました。パニックになりそうな時は、身内を探し回るか、その場で待って情報収集するのか、その選択を少しでも冷静にできたらよいです。(Yさん)



首都直下地震 10の選択
<https://www.10choices.jp/>

役割をつなぐ～ハロウィン製品～

クロスオーバー大和&next

毎年秋になるとハロウィン用の製品づくりをしています。爪楊枝や竹フォークの製品をクロスオーバー大和の就労プログラムで製作し、クロスオーバーnextでラッピング等を行います。また、ハロウィンリースはクロスオーバーnextにおいて、「下地を作る」「デザインを考えてデコレーションする」など、それぞれ役割を担いながら製作しています。商品化から出荷に至るまで、いろいろなところで利用者が役割を担い、力を合わせながら製品作りに取り組んでいます。



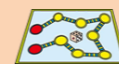
ラッピングをするときに色々なものがあり、数多くて柄の統一感を出すのが大変でした。yamatoでこういうものを作っているのかと思いました。折り紙が綺麗に折れていて、自分は折り紙が下手なので難しそうだと感じました。(Kさん)

パーツの配置を考えることや、ボンドで接着する時に、少しずつすぎ間ができてしまったため、調節が大変でした。時間がかかりましたがその分、自分が納得できるものができました。(Sさん)



作った製品をラッピングします

アイデアを出し合おう！



クロスオーバー大和 (生活P)

「SST すごろく」をオンラインでアップデート！

生活訓練で使用している「SST すごろく」のすごろく盤は、歴代のメンバーが作ったクロスオーバー大和のオリジナルです。「質問カードを引く」というマス目につくと、「質問カード」を引いて、書いてある質問に答えます。今回、質問カードを新たに追加するために、みんなでアイデアを出し合いました。



それ、面白い問題ですね！
何がいいか…「立っている」とか？

4択の質問を作りたいのですが、選択肢が3つしか思いつきません…
Q 電車に乗るときどこにいる？①ドア側 ②座る ③ 運転席側

う～ん、では「つり革」はいかがですか？

それいいですね！
④はつり革で！

メンバーからオンラインでの役割の担い方について新たな提案がありました。

最初に質問を各自で考えて、その考えた質問だけで進めました。プログラムに参加してみて自分から提案したり他者のことが知れたり出来て良かったです。(Kさん)

本棚の整理 & 十字結束



クロスオーバー大和 (生活P)

クロスオーバー大和の図書室にある本棚の整理を行いました。沢山の本がありましたが、分担や協力のもとスムーズに行うことができました。



ジャンルやタイトルで分け、難しいものは出版社で分類しました。どのような本があるのか知れたり、知っている漫画があったり、やっていて楽しかったです。(Kさん)

「分類終わりました」「お願いします」「これは結んで良いですか？」など声を掛け合いながら作業を進めました。

簡単・綺麗にできる十字結束の方法もすぐにマスター！協力して運び、みるみる本がまとめられました。



【10月の予定】

- 7日 海老名市内障害福祉サービス事業所コンサルテーション
- 11日 大和市発達障がい・相談支援オンライン勉強会
- 17日 海老名市自立支援協議会
- 19日 厚木市障がい者相談支援センター連絡調整会議
- 19日 綾瀬市カンファ・相談支援事業所連絡会
- 28日 海老名市相談支援事業所連絡会

発達障害者地域支援マネージャー



作画 A.N